

視聴覚治療室への吸音材施工事例

病院、老人ホールでは、ことばや聞こえに障害を持つ方へ発声、発語、聴能訓練などを行う目的で視聴覚治療室が設置されています。

視聴覚治療室では、①外部からの騒音が侵入しない ②内部で言葉の明瞭性が優れる等が必要ですが、今回の現場では、外部からの騒音の侵入を防止するために壁をなくしましたが、そのため、内部の吸音力が非常に小さくなり、室内で言葉が反響してしまい、治療に不都合が生じました。当社では天井への吸音性付加により改良対策を実施しました。

目的

- ◇ 視聴覚治療室の音響環境を改善して、訓練を効率良く行えるようにする。
- ◇ 室内に吸音性を付加することにより、残響時間を短縮し、言葉の明瞭性を向上する。



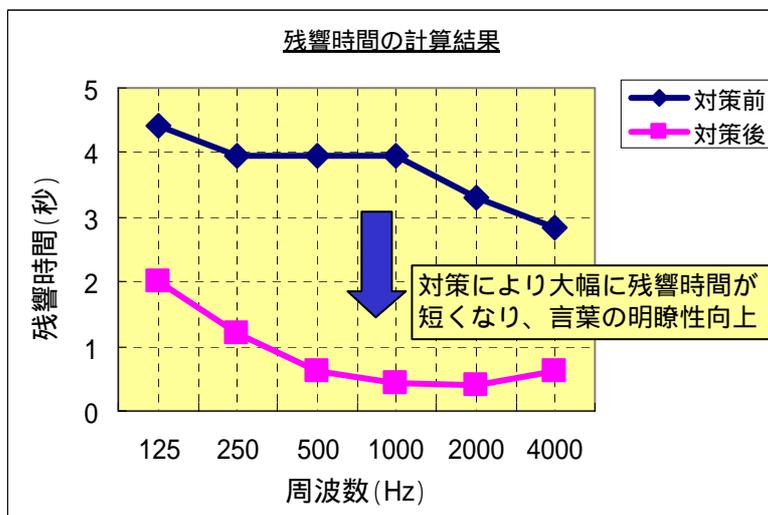
視聴覚治療室（イメージ）

対策概要

- ◇ 対象の部屋の図面を入手し、室の音響状態を示す残響時間を計算、その後当社吸音材を天井全面に施工した場合の残響時間を計算、当社吸音材施工により十分な効果があることを確認。
- ◇ 当社から吸音材（イーディケル M-6500）の施工図を送付し地元の内装業者に工事を依頼。
- ◇ 治療室の天井全体にイーディケル M-6500を背後空気層50mmで施工。

効果

- ◇ 残響時間が施工前の4秒(500Hz)から0.8秒に短縮。
- ◇ 吸音材施工後、治療室を実際に使用したが、言葉の明瞭性が向上し、訓練が効率良く行えるようになったとのこと。



日本特殊塗料株式会社

■本社 東京都北区王子 5-16-7 TEL 03-3913-6131 FAX 03-3914-1082
■開発センター 東京都北区豊島 8-16-15 TEL 03-5390-0668 FAX 03-3914-1085